

2012年3月26日
株式会社トランスパレント

三次元がん細胞培養システム”Cell-able® Oncology”を新発売
—世界最大数 144,000 以上の患者由来がん細胞バンクを持つ米国企業と提携—

がんの病因の多くは、細胞内の遺伝子の異常やそれに伴う蛋白の異常などであり、それらは患者毎に異なることが分かっています。そのため、新たな抗がん薬や治療方法の研究開発は、これら異常を反映する患者由来の細胞で行われることが重要です。しかしながら、患者由来のがん細胞は研究目的であっても入手は容易でなく、生体内に近い状態で安定して培養することも出来ませんでした。

[トランスパレント](#)と [Molecular Response](#) は昨年3月に三次元がん細胞培養システムについて共同研究を開始、これまでの研究成果を3月31日～4月4日に開催される米国癌研究会議(AACR¹)の年次総会にて共同発表致します。同時に“Cell-able® Oncology”の販売と [Molecular Response](#) が持つ患者由来がん細胞を活用したサービスの販売を開始いたします。

[トランスパレント](#) は、[Molecular Response](#) とともに、世界に類を見ない豊富なリソースと新しい技術をがん研究者及び医療従事者に提供し、がん患者の治療やQOLの向上に貢献いたします。Cell-able® Oncology 及びサービスの販売開始はその第一歩です。

さらに[トランスパレント](#) は、積極的に国内外のがん専門病院との共同研究を推進しており、新しい知見の獲得と有用な技術の確立を目指します。

【トランスパレントについて】

[トランスパレント](#) は水溶性感光材技術と細胞培養技術に関する複数の特許を有する、三次元細胞培養システムのリーディングカンパニーです。製品の"Cell-able®"は、患者由来がん細胞をはじめ様々な細胞²に適用することが出来ます。現在、グローバルに60以上の製薬企業、大学等の研究機関で利用されています。トランスパレントは、強力なパートナーとともに画期的な医薬品や治療技術の研究開発に貢献いたします。より詳細な情報は、こちらをご参照ください。

www.transparent.co.jp

【Molecular Response について】

Molecular Response は、分子標的治療において、患者の遺伝子的特徴を検査する技術（コンパニオン診断技術）を提供しているリーディングカンパニーです。米国サンディエゴに本社を置く同社は、世界最大数 144,000 以上の患者由来のがん細胞バンクを持ち、がんの標的分子の情報を医薬品の開発に活用することで、医薬品開発のリスクとコストの低減に貢献しています。より詳細な情報は、こちらをご参照ください。

www.molecularresponse.com.

お問合せ先
株式会社トランスパレント
千葉県印西市若萩 4-2-1
宇於崎 晴基（うおざき せいき）
TEL：0476-98-3471
E-mail：uozaki@transparent.co.jp

¹ AACR;米国癌研究会議(American Association for Cancer Research)の略称。1907年に米国で設立されたがん研究における世界最大の研究者団体であり、関連情報の発信源として世界中から高い信頼、評価を得ています。

² 様々な細胞; iPS細胞や初代肝細胞などの細胞が該当します。